

小松ジュニアのあゆみ

SINCE 1993~

平成5年（1993年）春、無所属のジュニア選手3名が県大会に出場しました。皆2回戦で敗退して、涙を流すというデビュー戦でした。その3名の選手が小松市出身ということで、一緒に練習会をしようということになりました。たまたま、国府台にテニスコートが2面でき、そこで週2回の練習が始まりました。これが、小松ジュニアの前身です。

沢野唯志

「小松市テニス協会40周年記念誌『白球呼友』（2006年）より



小松明峰高校との交流会（2004・7・19）

文責：沢野唯志

写真：鍛冶哲夫

「小松市テニス協会30周年記念誌『白球呼友』」には、発足当時の様子が紹介されている

コートの星☆ジュニア&チビジュニアのコーナー

★おいたち……4年前より、副会長である森 金太郎さんが選手強化を目的に始める。今ではテニス協会が全面的にバックアップし、コーチ陣も、コーチーズカンファレンス等に参加してがんばっています。

まずはジュニアのメンバー紹介

だたき 小松市立中 森 貴子さん

場所	国府台コート
日時	水・木 PM7:00~9:00
コーチ	沢野、関戸etc.

★選手より一言
まずは新人戦できるだけ良い成績を残そうにがんばりたいです。(高浅)
1年後にはクインズルンで優勝さっ。でもまずは、後になめかされないようにがんばります。(河原)

★観より一言
良い環境に恵まれて幸せです。(高浅父)
ケガをしないで、自分の目標にむかってがんばってほしい。(沢野母)

★コーチより一言
① 自分以外の人：特に両親への感謝の気持ちを忘れず。
② 人の話や自分のプレイは、よく考え自分なりに理解する。
③ コートの中では声を出して元気にプレイしよう。
④ コートに立つときは、目的・目標を持つこと。
⑤ 関戸さんのことを先生と呼びない。(これが一番大事なことです)

★コーチへ一言
試合中ちょっとうるさいかな！？？びげはんんとできるように。早く彼女を見つけて下さい。(河原)

いつも忙し中。なまきで言う事をきかない私達を教えてくれてありがとうございます。早くお嬢さんを見つけて、そっちの方もがんばって下さい。(沢野)

1年後いつでもかかってこいけもうそろそろコーチと生徒をかわりましょう。(河原母)

では続いて、もう一つの星 チビジュニアの紹介です。

場所	国府台コート
日時	月曜日 PM7:00~9:00
コーチ	沢野 etc.

★観より一言
10年後を期待しています。(森田母)
家族待ですと楽しくテニスができるように。(河原父)
一生懸命がんばって、ずっとテニスを好きで下さい。(奥田母)
先生の言う事をしっかり聞いてがんばって下さい。(田上母)
ずっとテニスを続けて下さい。(高浅父)

★練習内容—ショットボール左右打ち分け、ボレーボレー、ボレーアンドストローク、サブアンドレシーブ、センターに人を立たせ、3人一組でサイドステップでフォアとバックをストロークに打つ（しかし、私達はサイドステップができなかった） 以上、ほんの一部です。

だれも一度は涙を流したといわれる練習へ、ちょっとおじゃましてみました……。

▶ ちびJr.体験談 ◀
うまい、すごい、すごすぎる。これが私達の第一声でした。
取材には体験がつかぬものと思いきや、勇んで出かけた3人であったが、ちびJr.だからとあまく見ていた私達は、30分もたないうちに、足腰がくだけ、見るも無残な姿となってしまいました。練習内容が面白いのはさることながら、コーチの教えによりきたえあげられた子供達が、とてもたのしく思いました。
この日をきかずに私達3人の練習への思い入れがかわったのはさることながら、ずっとテニスを続けていこうと決心したのであります。
P.S なおJr.の練習へは体の都合により辞退させていただきました。

▶ 今までの戦歴 ◀
・ジュニア選手権 12才以下 河原 孝則君 優勝
14才以下 沢野咲知子さん 優勝
16才以下 河原 由佳さん 優勝
・一年生大会 河原 由佳さん 優勝
他、北信越においてもベスト8の実力を持つ。
全日本ジュニア強化練習、北信越より選抜される。

編集委員の体験記の言葉が楽しい。「うまい、すごい、すごすぎる。これが私達の第一声でした。」

平成5年秋の大会では、河原由佳が優勝・沢野咲知子が準優勝という幸先の良いスタートを切った。全国大会に初めて出場したのはそれから5年後の平成10年（1998年）、全日本ジュニア16歳以下ダブルスに出場した河原孝則である。

翌年には奥田真紀子が全日本ジュニア14歳以下シングルス・ダブルスに出場し、その後16歳以下シングルス、高校・大学で活躍することとなる。



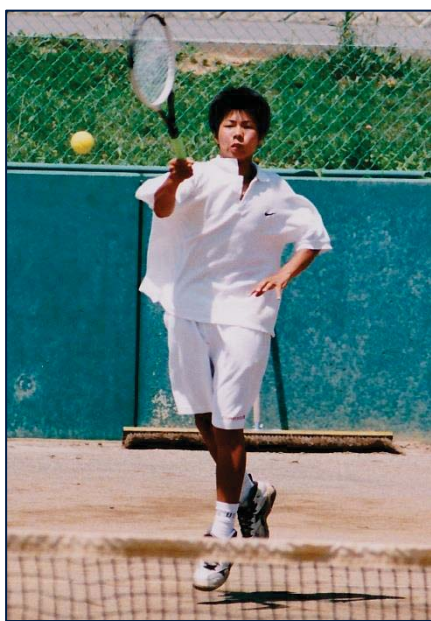
河原由佳

攻撃的・ダイナミックなプレーで、相手を圧倒した。
創成期の小松ジュニアを牽引した。



沢野咲知子

俊敏なフットワークが持ち味。金沢大学で、インカレ・王座に出場した。



河原孝則

小松ジュニアで初の全国大会出場を決め、
歴史を切り開いた。抜群の運動神経で縦横
無尽に動き回った。



奥田真紀子

フォアバック共に両手打ちで、鋭くコーナーを突いた。
大聖寺高校・関西学院大学で活躍した。